

富澤 章氏提供「陸地測量部職員表」(1944年)と 「昭和二十年度作業部署表」(1945年)

富澤 章氏は昭和 9(1934)年に陸地測量部の技術見習い(「工手見習い」)になられて以来、地理調査所、さらに国土地理院と昭和 51(1976)年に退官されるまで 42 年間にわたって地図作製にたずさわってこられた。戦前には修技所を受け継いだ教育部に入学されて、技術の習得にもあたられた。ここに掲載するのは、上記のような富澤 章氏が保存されてきた「陸地測量部職員表」(1944 年)と「昭和二十年度作業部署表」(1945 年)である。

すでに『測量・地図百年史』(測量・地図百年史編集委員会編、日本測量協会刊、1970 年)は、戦前・戦中の陸地測量部についてふれている。しかし長期にわたる測量および地図作製の歴史であるだけに、各時期についてそれほど詳しい記載があるわけではない。富澤氏所蔵の「陸地測量部職員表」と「昭和二十年度作業部署表」はこうした欠を補うたいへん重要な資料である。2004 年 6 月 19 日の塚田建次郎氏との講演に際し、「地理調査所職員表」(1949 年)とともにご持参いただいた際、これらを資料として参照させていただくことをお許しいただいた。

「陸地測量部職員表」では、とくに外邦図をさかんに作製していた時期の陸地測量部の構成が示されている。また「昭和二十年度作業部署表」では、外邦図を主体とする地図の製図にあっていた陸地測量部第三課第二班の人員構成や「作業種目」、完成予定期などが示されている。今回『外邦図研究ニューズレター』3 号に、塚田氏との講演の記録とともにこの資料を掲載することをお願いしたところ、お許しいただくこととなった。以下、両資料の特色について簡単にふれておくこととしたい。

「陸地測量部職員表」は昭和 19 年 11 月 1 日調とされており、第 2 次世界大戦も末期にさしかかるころのものである。謄写版刷りの大きな表で、この外枠は縦 31.4 センチ、横 50.3 センチに達する。上から下に全部で 6 段にわけ、最上段は右より横書きで「部長少将 大前憲三郎(27)」と記す。富澤氏によれば、この 27 という数字は、陸軍士官学校の卒業期数を示している。以下軍人

職員の氏名に付して記入されている数字も同様である。第 2 段は「総務課」、第 3 段から第 5 段は、それぞれ「第一課」、「第二課」、「第三課」、最下の第 6 段は「教育部」で、いずれでも縦書きで役職と職員の氏名を記している。「第三課」の欄には、富澤 章氏や塚田建次郎氏のほかに金澤 敬氏のお名前もみえる。なお表の左端には備考欄がある。この大きな表を掲載するのは容易ではなく、右上から順に内容を記載することになった。

この職員表には多くの難読字があったが、富澤氏のご所蔵の『陸地測量部修技所・同教育部・地理調査所技術員養成所、卒業者名簿』(日本測量協会、1952 年刊)と比較対照して記入して下さった。あわせて職員表の誤字と考えられるものも訂正していただいた。なお、この卒業者名簿には、明治 24(1891)年 7 月に卒業した第 1 期生(9 名)以降の氏名、住所などが記載されているという。

「昭和二十年度作業部署表」は「昭和二〇・二・二五」と日付を記入する。上記「陸地測量部職員表」より 4 ヶ月弱あとのものであるが、「技手」の多くの方のお名前は一致しており、塚田建次郎氏のお名前もみえる。なおここには、「陸地測量部職員表」には記載されていない、実際の製図作業にあたったかと思われる方たちが、多数「工員」として記載されている。

「陸地測量部職員表」と同様、謄写版刷りの横長の表で、この外枠は縦 24.9 センチ、横 31.3 センチである。上下を 10 段にわけて、最上段には右より横書きで「陸軍技師 園部 蔀」、第 2 段には同様に「陸軍技師 小川 泉」と記す。第 3 段は「作業区分」でもおもに担当する地図の種類や地域を、第 4 段は「判任官」で上下に「主任」および「副任」を示す。なお、第 3 段以下は左右に 11 にわけられており、「作業区分」にしたがったそれぞれの部署が示される。第 5 段「作業種目」では、おもに担当する地図の縮尺や種類、地域、さらにサイズを示しており、これから当時のこの判の業務は大半が外邦図の製図であったことがわかる。第 6 段は「完成期別」で「前」または「後」を記入する。左端の備考によれば、「前期」は 2 月 - 7 月、「後期」は 8 月 - 12 月である。第

7 段「完成予定」は「三月末 - 五月末」などと、おそらく 1945 年の月を示している。その下の第 8 段「判任官及同待遇者」は、記入のある部署は 2 箇所にすぎない。第 9 段「工員」は、多数の方のお名前を示している。女性のみ部署、男性のみ部署とわかれている。最下段は各部署の人数合計で、総員は 196 名である。なお表の左端には備考を付し、上記のほか略号などの説明をしている。

この表についても、もとの形で掲載するのは困難で、基本的に右端の欄から順に記載して内容を示している。また は難読字、氏名の前の は印刷後に記入されたものである。また「陸地測量部職員表」と同様、やはり富澤氏に氏名をチェックしていただいた。

以上、「陸地測量部職員表」(1944 年)と「昭和二十年度作業部署表」(1945 年)の概要を紹介した。末尾になるが、あらためて資料の提供だけでなく、原稿の校正についてもご配慮下さった富澤 章氏に感謝したい。

(小林 茂)

陸地測量部職員表

電話淀橋 (37) 自一一五一
至一一五七 昭和十九年十一月一日調

部長 少将 大前 憲三郎 (27)

総務課

課長大佐 鈴木 清 (28)
 班長
 部附中佐 (庶) 野口 重次 (37)
 部員少佐 (統) 横山 芳夫 (45)
 部附主計少佐 (会) 安藤 信男 (教)
 部附少佐 (器) 秋山 竹次郎 (教) (50)

附

部附大尉 (地) 渡辺 忠夫
 同主計大尉 (勞) 福井 孝一
 同軍医中尉 (医) 海瀬 好和
 兼補中佐 野田 正文 (39)
 部員技術大尉 洞 邨人 (特7)
 部附技術中尉 末広 厳夫
 (休) 部員中尉 川出 融 (特16)
 部附中尉 定塚 勝夫 (特18)
 同 清水 守人
 同 国定 浩
 同主計少尉 渡辺 晃
 部附少尉 西沢 揚太郎
 經理部見習士官 丹慶 雅夫
 (休) 部附技師 松井 武夫
 同 佐藤 信一 (三)
 部附理事官 石井 菊三郎
 同 藤代 鈴太郎
 部員 星加 一武
 部附 芦川 龍吉

准士官下士官

衛生准尉 田中 敏夫
 主計准尉 新井 正
 主計曹長 吉沢 弘
 陸軍曹長 市川 賢一
 衛生軍曹 田中 直太郎
 同 柴田 威

主計軍曹 天野 茂
 同 高瀬 弥太郎
 同 今井 喜治
 陸軍々曹 鈴木 英司
 同 瀬谷 嘉久
 同 沢田 弘
 同 丘田 信次郎
 同 河崎 靖臣
 同 倉田 積

属

神谷 一、浜田 良吉、松本 貞一郎、(応) 川上 清二郎、茂木 英雄

技手

鈴木 日曾男、杉井 繁勝、久能 幹夫、美田 彪、(応) 横井 康人、吉本 純、(応) 吉川 安晴、小島 雅人、小林 武男、(応) 尾迫 栄新、峯村 開雄、土屋 清秀、向井 充、梅田 源之助

嘱託

平木 安之助、工藤 潤次郎、野坂 喜代松、和田 義三郎、臼井 直助 (召)、加藤 政之助、江川 政一、富永 廉、栄沢 忠孝、松山 基範、柴田 秀雄、末松 米市、原田 三郎、中江 昭男、田中 起之助 (参)

(定員外)

技手

佐藤 敏夫

第一課

課長事務取扱(兼)大佐 鈴木 清 (28)

班長

部員技師 武藤 勝彦

附

部附技術中尉 坪川 家恒 (短)・(教)

部員技師 河上 富次郎
同 奥田 豊三
兼補陸軍教授 清水 暉

技手

林 正武、福崎 享、(応)宮崎 進治、(応)榎藤 寅生、江幡 辰雄、(応)中村 正一、(入)直原 勝二、藤村 秀二、楠見 志朗

囑託

若林 鶴三郎、佐藤 久、永田 武、村松 繁樹、渡辺 光、松本 信広、菊池 浩、実川 栄、山崎 信次郎、鳥越 嵩、村上 智夫、多田 文男、藤沢 信、中田 祐夫、光村 利之、益田 六十郎、乙津 鋒治、堀井 義衛、富岡 捷、中村 五月、駿潮儀監守 桑野 豊

第二課

山口 正

班長

部附少佐 田中 徳治
部員技師 相原 国之介
同 斉藤 敏

附

部附技術大尉 遠山 侗
部附技術中尉 中村 龍雄
同技手 小松 長治郎
部附 咲山 徳太郎
同技師 辻田 勝三
部員技師 神保 秀六
同 藤枝 孝太郎(教)
同 田中 元治(教)
部附技師 小川 幸夫
同 関 隆良

技手

野中 正七、谷本 里吉、池田 時三郎、秦 一雄、片岡 忠次、松原 慶三、鯉江 秀夫、牧村 博、炭屋 郁、小池 三郎、阿部 留吉、上坂 道良、野見山 重夫、鈴木 久、安藤 五郎、奥山 時男、(応)吉田 賢、押川 秀則、岩佐 義一、八木 下建次、村井 純孝、近藤 俊夫(教兼)、坂本 義雄、加藤 昇、菅沼 淳、坂成 孝徳、斉藤 博、大川 俊男、佐藤 敬

文、望月 弥太郎、二村 健蔵、平井 恒太郎、木内 統、松本 健夫、武曾壮 茂、日野 友久、栗梅 一登(参)、片山 喜一、稲葉 邦正、下草 定男、宮川 本吉、(応)神山 信夫、足立 進、松本 剛暉、寺田 建三、工藤 富男、秦 耐治、斉藤 良次郎、津野 慶万、吉永 正義、佐々木 豊太郎、鈴木 三郎、吉井 清正、矢野 悦久、荒川 五郎、井村 英夫、森 秀次

囑託

川名 八蔵、石原 尊、堀 亀吉、佐々木 定観、鳥居 鉦太郎、吉村 武雄

第三課

課長中佐 馬瀬 口久乎(33)

班長

部附大尉 和田 敏道(特7)
部員技師 園部 葩(一)(総)(教)
同 渡辺 三雄(一)(総)(教)

附

部附少尉 岩井 裕三郎
同技師 小川 泉
同 高木 一(教)
部員技師 石山 孝太郎
部員技師 山本 春之助
同 玉川 良雄
同 浦 貞助
同 磯崎 達蔵

技手

酒井 正、亀井 信善、小倉 爲次郎、武田 孝二、福岡 文雄、林部 義則、黒瀬 暉二、中村 徳太郎、数井 信太郎、山内 種吉、石塚 新太郎、森 源三郎、加瀬 秀六、野中 弥太郎、桜井 勇夫、鈴木 新蔵、青木 勝三郎、(応)吉野 英一、中村 象一郎、実川 栄、高坂 博、杉山 喜高、森本 久弥、大和 昇、村田 松吉、洲崎 武雄、壺井 栄之助、富沢 章、篠田 清、佐渡 三郎、飯田 義雄、(応)鈴木 隆二、(応)高木 義雄、峯岸 光治、金沢 敬、奥 克彦、大井 淳、沢本 晴喜、加科 正基、岡野 昌晴、森 三郎、塚田 建次郎、篠原 常

治、松下 秀作、橋本 明、桶口 常次、広重 徳政、小池 甫、興梠 久、平松 義人、塩谷 富男、古沢 清、石川 勝位(入)、阿部 征一、中塚 幸彦、中山 知美、岡子 新一、八尋 勉、若林 康平、新井 明、森田 源一郎、中野 賢二、秋元 穰、錦織 伸三

囑託

佐藤 武道、美田 喜武(参)、岡田 賢次郎

教育部

部長事務取扱(兼)大佐 鈴川 清

附

部附中佐 沖 慎蔵
同大尉 中川 康
同技術中尉 粕谷 逸男
同 江藤 幸郎
同少尉 西山 正英
同技師 香川 松太郎
部員技師 岡本 松三郎
同 斉藤 暢夫
同 大久保 武彦
部附技師 小林 重平
部附 眞塩 信次
部員技師 中根 利雄
部附技師 西谷 一之
同 小田 秀全
同 比田井 漸
同 原口 昇

下士官

陸軍軍曹 根本 守
同軍曹 伊藤 誠実

技手

小俣 幸太郎、越峠 敏郎、富沢 文蔵、小林 常治、浅野 無学、土師 常信、梅沢 浩、占部 正七、小橋 忠男、渡辺 重孝、河守 靖三、佐藤 鉦三

学生

(第二十九期)

高橋 忠蔵、吉田 忠男、木下 耕意知、岡田 惇、武内 大丈夫、相川 長、乾 賢二、佐野 一応、新見 良一、田中 平八、山本 豊、斉

藤 文城、福留 清、山本 義雄、永井 博尚、小林 正幸(召)、吉田 正雄、原田 盛武、水本 政次郎、西山 重郎、小沢 元助、三浦 定勝、岩崎 藤七、古川 戈蔵、斉藤 隆雄、白井 三郎

(第二十八期)

高城 保、横山 徳三郎、吉倉 喜一、桶口 利明、橋本 茂雄、高松 隆二、渡辺 修三、金田 秀雄、橋山 甲三、種田 守、鈴木 末三郎、石川 光荣、小笠原 虎若、関 達辨、山本 類次、大村 稔、稲垣 五郎、相沢 東夫、斉藤 俊男、村田 学、荒木 正平、大泉 諭、田中 賢二、西原 重男、遠藤 敬二、野口 憲次(召)、八多 時男、木村 実、三宅 太郎(召)、麻生 保、村田 寿夫

囑託

橋本 昌笑(?)、高橋 龍太郎、宮下 孝雄、伊東 亮次、鈴木 桃太郎、鏑木 政岐、岡部 建造、飯坂 義治、菊池 眞一、片平 信貴、伊藤 茂

備考

(教)ハ教育部 (総)ハ総務課 (一)ハ第一課 (兵)ハ陸軍省兵勢局夫々兼務ヲ (文)ハ文部省囑託ヲ示ス (応)ハ応召中 (休)ハ長期休業者 (入)ハ入営中 (短)ハ技術(軍医)候補生出身の現役技術部(衛生部)将校

昭和二十年度 作業部署表

昭和二〇、二、二五、 第三課第二班

班長：陸軍技師 園部 部 【全ての作業区分を担当】

班付：陸軍技師 小川 泉 【一般庶務を除く全ての作業区分を担当】

作業区分：一般庶務

判任官

主任：技手^ケ 福岡 文雄 (物品監守者)

副任：判待 有馬 平八

作業種目

人事二関スル諸報告、金銭給与二関スル調査、出勤簿整理、命令會報ノ受領傳達、材料消耗品二関スル事項、配給、「カード」ノ整理

工員

藤村 峯子、高橋 美寿子、本間 貞子、土屋 久子、多田 とみ、瀧倉 輝江、山本 梅子

人員計：8

副任：技手 村田 松吉

技手 加科 正基

作業種目

各作業成果品ノ点検・校正

工員

住川 直三、多田 功、吉田 収

人員計：6

作業区分：航空図、地勢図、百万、内地、支那、朝鮮

判任官

主任：技手 櫻井 勇夫

副任：技手 奥 克彦

作業種目ノ完成期別ノ完成予定

・百万分一地勢図 内地(枉、一三)ノ前ノ三月末 - 五月末

・同 中南支(枉、一〇、四六、二)ノ前ノ四月末 - 五月末

・百万分一航空図 日滿支(四六、二四)ノ前ノ五月末 - 六月末

・二百万分一航空図 (四六、四)ノ前ノ四月末

・五十万分一航空図 (四六、二)ノ前ノ六月末

・同 (四六、四)ノ後ノ八月末 - 九月末

・二百万分一航空図 (四六、七)ノ後ノ九月末 - 十一月末

・百万分一航空図東「ソ」アリューション (四六、一七)ノ後ノ九月末 - 十一月末

工員

黒田 秀代、佐藤 とし子、木村 なほゑ、桐 双葉、小澤 喜美子、拓殖 寿美子、宮島 たか子、今井 寿美江、香取 享子、平野 幸子、

中澤 公子、福島 操、小林 みつ、上野 博子、矢野 美恵子、海野 瀧子、名取 彬子、大

作業区分：作業(計画・調査・報告)

判任官

主任：技手^ケ 実川 榮

技手^ケ 大和 昇

副任：技手 澤本 晴善

作業種目

作業命令ノ傳達、班外連絡、作業用諸資料ノ受授、成果品ノ受授、作業旬報、月報、年報ノ調製、作業諸統計二関スル事項、経師作業

判任官及同待遇者

関口 守雄

工員

川村 助、茂木 七郎、太田 八重子、水谷 美智子、香取 昭子、鈴木 益三

人員計：9

作業区分：校正

判任官

主任：技手^ケ 小倉 爲次郎

塚 徳子、白鳥 順子、持徳 昌子、川島 てる子、山崎 文代、丸山 芳子、川口 明子、西野 敏子、坂井 春乃、市田 寿子、結城 和子、飯田 須賀子、大竹 靖子、木村 邦子

人員計：33

作業区分：地勢図、南方五十万、南方百万、兵要地誌図

判任官

主任：技手 高坂 博

副任：技手 壺井榮之助

作業種目 / 完成期別 / 完成予定

- ・百万分一 印度ビルマ(桎、三) / 前 / 三月末日
- ・五十万分一 泰、佛印(桎、二十六) / 前 / 五月末 - 六月二十日
- ・百万分一 北佛印、海南島(桎、三) / 前 / 四月末 - 五月末日
- ・五十万分一 印度、ビルマ(桎、一三) / 後 / 九月末 - 十一月末日
- ・同 ボルネオ(桎、五) / 後 / 八月末 - 十月末日
- ・百万分一 南方(桎、二六) / 後 / 十月末 - 十二月十日
- ・兵要地誌図

工員

須田 準一、笠井 英夫、塩田 茂、藤田 正夫、関口 嘉七、小堤 武夫、岩澤 正男、中畑 一夫、白上 祐資、上林 義男、吉田 安宏、桃川 陽吉、鈴木 武雄、内海 正夫、原 達夫、寺田 精宏、内海 圭一、飯田 正雄、持木 元長、大泉 宏、桶山 嘉宥、菅沼 和男、岩上 清、渡部 達郎、矢野 誠、西山 精一、鈴木 幸男、谷岡 達生

人員計：30

作業区分：輿地図、帝國図

判任官

主任：技手 実川 榮

副任：技手 高坂 博

判待 高橋 正路

作業種目 / 完成期別 / 完成予定

- ・六百万分一 北方(四六、二) / 前 / 四月末日
- ・二十万分一 関東地区(桎、五) / 前 / 五月末日

・六百万分一 北米(四六、四) / 前 / 六月末日

・同 (四六、二) / 後 / 八月末日

・同 (四六、二) / 後 / 十月末日

・五十万分一 (桎、七) / 後 / 十二月十日

工員

徴員

霜田 甲三朗、篠崎 正吉、徳永 芳勇、小川

政博、下西 薫、佐々木 貞三、渡辺 眞平、

安達 安三朗、松本 安雄、西澤 太郎、海老

原 敏吾、太田 繁好、河原 喜久寿、中村 中

人員計：16

作業区分：朝鮮二十万、臨時図、兵要地誌図

判任官

主任：技手 森 源三郎

副任：技手 塚田 建次郎

作業種目 / 完成期別 / 完成時期

- ・二十万分一 朝鮮南部(桎、一一) / 前 / 五月末 - 六月十日
- ・同 北部(桎、一四) / 後 / 十月末 - 十二月十日
- ・臨時図
- ・兵要地誌図

工員

神宮司 ふき、鈴籬 良子、小野寺 房子、鈴木 敏子、宮内 みつ子、渡辺 実枝子、山口 藤枝、佐伯 ハナ子、江島 絢子、寺田 つや子、奈良 まさ、高島 ヤス子、武石 榮津子、市川 和子、吉田 きよ

人員計：17

作業区分：支那五十万、帝國図、内邦地形図

判任官

主任：技手 森本 久彌

副任：技手 佐渡 三郎

作業種目 / 完成期別 / 完成予定

- ・五十万分一 北中支(桎、二八) / 前 / 四月末 - 七月二十日
- ・同 重慶南支(桎、一九) / 前 / 三月末 - 六月末日
- ・二十万分一 北樺太(桎、一) / 後 / 九月末日
- ・二十万分一 静岡附近(桎、四) / 後 / 九月末日
- ・二万五千分一 地形図(桎、五) / 後 / 十一月末

日

判任官及同待遇者

廣重 徳政、興相 久、中野 賢一、八尋 勉、秋元 穰、森田 源一郎、若林 康平、中山 知美、大久保 幸雄、木村 俊彦

工員

下川 正司、水谷 保、齊藤 周三郎、鈴木 千之助、伊藤 一徳、松本 良雄、春 茂、伊達 欣二、奥村 弘、茂呂 一雄、齊藤 嘉明、西尾 秀弥、土田 三智雄、横川 英雄、榎本 柳吉、佐藤 武明、武藤 進、戸田 吉次郎、大谷 春市、山田 尚文、今井 元則、山口 榮二郎、藤田 千春、宮川 啓二、藤井 史郎

人員計：37

作業区分：支那十万、内邦地形図、臨時図

判任官

主任：技手 福岡 文雄

副主任：技手 伊藤 義治

作業種目 / 完成期別 / 完成予定

- ・南支十万分一 潮州（桎、六） / 前 / 五月末日
北海（桎、一三） / 前 / 五月末日
梧州及雷州（桎、二一） / 後 / 六月末日 - 十一月末日
- ・五万分一地形図（桎、五） / 後 / 五月末 - 十一月末日
- ・臨時図

工員

飛田 道蘊、南方 幸五郎、太田 米治、高崎 信二、山越 喜一、森谷 郷一、川井 誠、藤井 敏史、小林 武男、石井 正雄、高木 寿、瀧澤 義雄、倉田 源一郎、田村 一雄、安藤 兼二、大柳 武重、川口 金吾、伊藤 宏一、山本 晃雄、小倉 望

人員計：22

作業区分：朝鮮図、内邦地形図

判任官

主任：技手 大和 昇

作業種目 / 完成期別 / 完成予定

- ・部外作業整飾（二一） / 後 / 七月末 - 九月末日

工員

加納 あや、北村 若枝、増山 愛、清水 郁子、澤田 美智子、小澤 政代、松井 澄子、橋村 富士子、大里 安佐子、川俣 慶子、久保木 喜久子、向後 歌子、青柳 かつ、池田 和子、小久保 とも

人員計：16

作業区分：教育

判任官

主任：技手 森本 久彌

備考

- 一、作業部署八本表ノ如ク定ムルモ各官ハ彼此連繋援助シ業務ノ円滑ヲ計リ遺漏ナカラシム
- 二、本年度作業中前期ハ二月 - 七月、後期ハ八月 - 十二月トシ完成予定ノ厳守ニ努ムルモノトス
- 三、班長園部技師ハ総務課第一課及教育部教官兼勤、伊藤、塚田技手、教育部助教兼勤トス
- 四、八検査掛代理勤務、「ヶ」ハ班内兼務ヲ示ス
- 五、本表外帝國図修正ノ爲交通網調査ヲ実施ス
- 六、朝鮮図作業組ハ主トシテ他組ノ援助作業ニ任スルモノトス
- 七、教育部生徒トシテ三月一日轉出スル工員中村章、小倉 榮進ハ本表外トス

総員：196